

# T.M.P. NEWS

VOL.53 2019.10

T.M.P.

秋の声が聞こえる美しい季節が到来しました。皆様におかれましては益々御清祥の事とお慶び申し上げます。また平素より格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

10月5日、家族で豊田スタジアムに駆け付けました。もちろんラグビーワールドカップ日本対サモア戦を応援するためです。終始日本がリードしていたものの、そこは相手も強豪国で、思ったほど点差が広がらず、緊迫したゲーム展開となったものの、終盤立て続けに日本が得点し、終わってみれば38対19で日本が大勝しました。ルールがわからないフラストレーションはあったものの、とにかく日本が勝利したことに家族一同大満足し、帰路につきました。

ここに来て日本のラグビーが急な盛り上がりを見せていますが、にわかかりに調べてみると、やはり急に強くなっていました。1995年のワールドカップ、ニュージーランドに128点差で大敗して以来、5回のワールドカップ予選で1勝もできなかったのが、2015年突如として3勝をあげ、今年は前回成し得なかった予選突破をしたわけです。理由は皆様お気づきの通り、チームの多国籍化があげられると思います。1995年当時、東洋人以外が4名だったのが、今年のチームは半数近くになり、当時と比べ平均体重が10キロ近く増加していました。ただし2011年大会の段階で既に東洋人以外が30%以上で構成されたチームで1勝もできなかったことを考えると、2012年から就任したエディー・ジョーンズの指導力が如何に優れていたかがわかります。そして、引き継いだジョセフコーチが更に磨きをかけたのが今の日本チームというわけです。

耳の痛い話ですが、優秀な人材を生かすも殺すもトップ次第という事のようにです。

株式会社 東海メディカルプロダクツ

代表取締役社長 筒井康弘



## トピックス

## 9月18日 紺綬褒章伝達式(個人)

筒井会長が講師・客員教授を務める名古屋大学「博士課程教育リーディングプログラム」に筒井会長が寄付したことに対して、国から紺綬褒章が授与されることになり、9月18日に伝達式が同大学で開催されました。

2012年に名古屋大学が優秀な学生を産学官にわたり、グローバルに活躍するリーダーへと導くために始めた「博士課程教育リーディングプログラム」は、2018年度末で補助期間は終了しましたが、筒井会長の呼びかけによって、2019年度以降も外部からの寄付金を募りつつ、継続していくことが決まり、筒井会長自らも寄付いたしました。世界をリードする人材の輩出を通して世界に貢献し、社会の期待に応えていくために、より多くの方がこのプログラムで学ばれることを望んでおります。



## 9月5日 紺綬褒章伝達式(法人)

東海メディカルプロダクツとして名古屋大学医学部附属病院支援事業特定基金に寄付したことに対して、国から法人に対して紺綬褒章が授与されることになり、9月5日に伝達式が同病院で開催されました。

この支援事業は病院全体に対する寄付ではありますが、小児分野での治療の発展に思いを込めて寄付させていただきました。当社としても小児用のPEDバルーンカテーテルなど、小さな命が一人でも多く救われるように、今後も医療機器開発に真摯に取り組んでまいります。



会社見学にお越しになりました



藤田学園/三菱UFJ銀行



千葉商科大学



財務省東海財務局

2019年7月1日

星長 清隆 先生 (学校法人藤田学園 理事長)  
 水上 耕一 様 (三菱UFJ銀行 春日井支店支店長)  
 延川 真章 様 (三菱UFJ銀行 名古屋支社 部長)

2019年7月29日

熊沢 孝 先生 (千葉商科大学大学院 客員教授)

2019年9月3日

藤本 拓資 様 (財務省 東海財務局局長)  
 松山 友彦 様 (財務省 東海財務局 秘書係長)

9月5日 愛知県議会福祉医療委員会県内調査

愛知県保健医療局医薬安全課を通じて愛知県議会福祉医療委員会から県内調査先の打診があり、9月5日に当社の研究開発拠点イノベーションセンター「ミライ」で開催されました。イノベーションセンター「ミライ」は、2017年12月に経済産業省(経済産業大臣 世耕弘成様)から地域経済発展の核として期待される「地域未来牽引企業」に選定いただいたことを記念して開設した施設です。



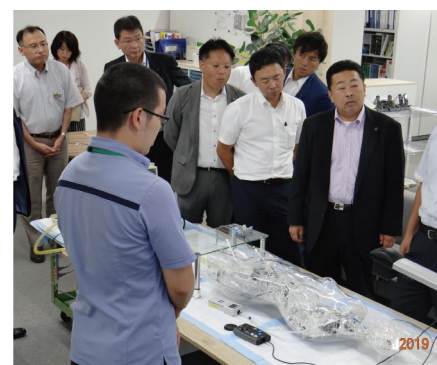
神戸健太郎 委員長



伊藤勝人 県議会議員



吉田宏 保健医療局長



## 学会参加・出展報告

### TOkyo Percutaneous cardiovascular Intervention Conference : TOPIC2019

7月11日～13日、今回で16回目となるTOPICがセルリアンタワー東急ホテルにて開催されました。当社は展示ブースにて、末梢血管内治療時に使用されるマイクロカテーテル「Prominent®」シリーズと新たに心臓用マイクロカテーテルとして販売となった「ReACT」、狭窄部貫通用カテーテル「TOUGH SUPPORT®」、オクリュージョンバルーン「OPTIMO® PPI」を出展し、多くの先生方にご覧いただきました。

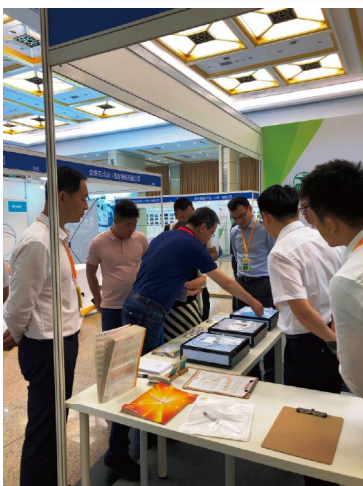


7月11日にはFireside Sessionを開催し、座長は横須賀市立うわまち病院 荒木浩先生、演者の時計台記念病院 浦澤一史先生には「Prominent micro-catheters : Which, where, when and how」という演題で、Prominentのそれぞれの特徴と、どのような場面で使用するのが良いか、他社製品を含めて優れている事について講演していただきました。京都第一赤十字病院 木村雅喜先生には「大腿膝窩動脈病変に対するDrug-coated Balloon使用時のOPTIMO PPIの使い方」という演題で血流コントロールを行えるデバイスであるOPTIMO PPIを使用したDCB症例を紹介していただきながら講演していただきました。

7月13日にはDevices Hands on Sessionを、座長 大和成和病院 菅原重忠先生、コメンテーター 戸田中央総合病院 土方伸浩先生、演者 福岡徳洲会病院 下村英紀先生より「冠動脈治療におけるProminent ReACT初期使用経験」について講演いただきました。また開催3日間、当社初のエンジニアリングルームを設け、多くの先生方を招き、当社製品に関してご意見を伺う事ができました。この場をお借りして御礼申し上げます。今後も進化し続ける医療において国内製造メーカーとして先生方のアドバイスやご要望を頂戴し期待に添えるようより良い製品作り、新たな製品開発に邁進していきたく思います。(古楳 記)



### CSIR



7月11日～14日、中国上海で開催されたCSIRに参加致しました。中国とより深く関わるようになってまだ日は浅いのですが、訪問するごとに中国の国土の広さ、ビジネスの奥深さを感じます。

言語の問題もさることながら、広大な国土ゆえに代理店ネットワークの構築、情報の収集、整理、連携など一筋縄ではいかない部分が多く、日々新しい課題に取り組みつつ活動を進めています。

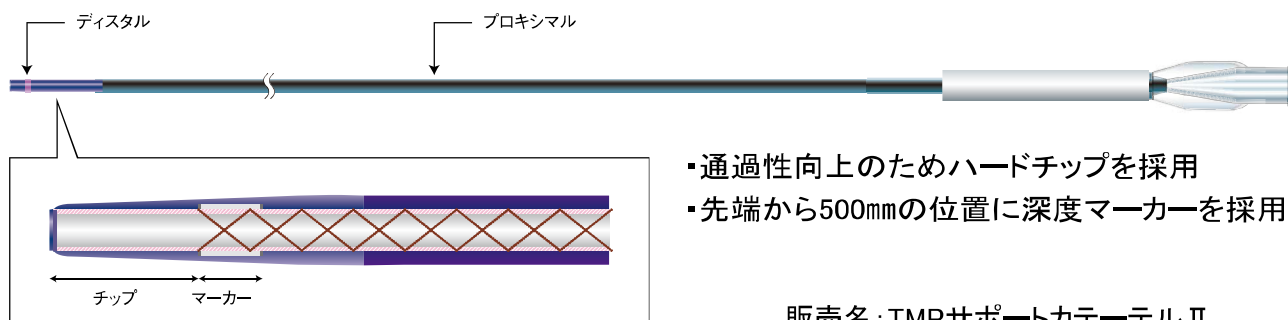
学会では、日本製品にご興味を持って下さる先生方から日本でのTACEの状況から当社マイクロカテーテルの開発の経緯に至るまで非常に多くのご質問をいただき、改めて幅広く知識を蓄える必要性を痛感し帰国致しました。39期はより深く中国市場に入り込めるよう、代理店と鋭意準備をしている最中です。(青山 記)

# TOUGH SUPPORT

～0.035inchガイドワイヤ対応のサポートカテーテル登場～

末梢血管インターベンション時の0.035inchガイドワイヤ対応サポートカテーテルとして、タフな使用に耐えるシャフト構造を有したデバイスでありながらもディスタル部はロープロファイル化することで通過性を確保。また、0.014/0.018inchガイドワイヤ対応のサポートカテーテル\*を強力にサポートします。

\*外径0.035inch/2.6Fr以下のサポートカテーテル



販売名: TMPサポートカテーテル II  
承認番号: 23000BZX00119000  
保険請求分類: 狭窄部貫通用カテーテル

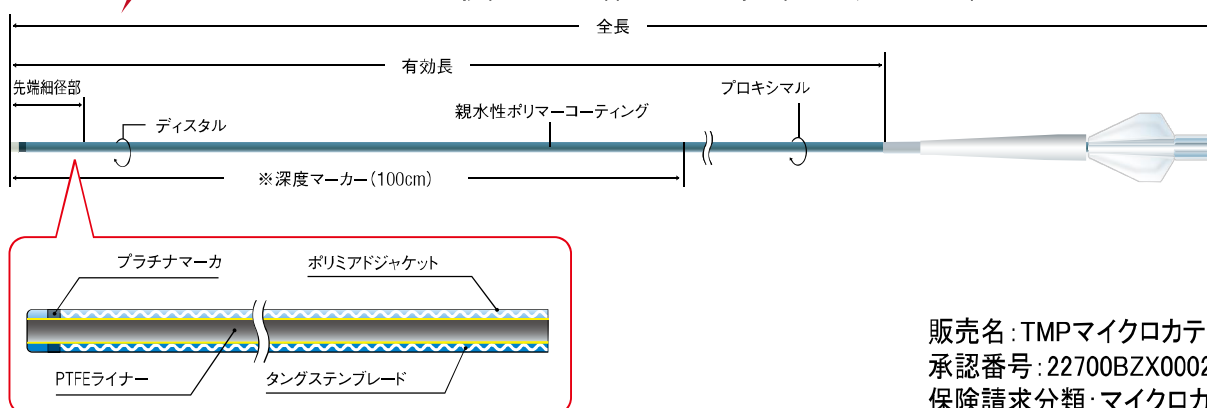
製品番号	ディスタル部 外径/内径	プロキシマル部 外径/内径	有効長	先端形状	適合最大 ガイドワイヤ径	JANコード
PC-T3506	3.3Fr/ 0.036inch	4.0Fr/ 0.039inch	60cm	ストレート	0.035inch	4562382436465
PC-T3506A			60cm	アングル		4562382436472
PC-T3512			120cm	ストレート		4562382436489
PC-T3512A			120cm	アングル		4562382436496

## ReACT

Prominent

～スムーズな操作性と通過性でプロマネントの新たな扉を開く～

- ・コロナリー領域に特化
- ・1st ChoiceからRe-Actionが必要な症例まで対応できるマイクロカテーテル
- ・先端細径部10cmは1.6Fr外径サイズ
- ・視認性を確保しつつ末梢部への追従性を高める



販売名: TMPマイクロカテーテル I  
承認番号: 22700BZX00022000  
保険請求分類: マイクロカテOSB

製品番号	有効長	ディスタル部 外径/内径	プロキシマル部 外径/内径	先端細径部長	適合最大 ガイドワイヤ径	JANコード
MCPR135	135cm	1.6Fr/ 0.0155inch	2.6Fr/ 0.021inch	10cm	0.014inch	4562382436748
MCPR150	150cm					4562382436755

第28回日本心血管インターベンション治療学会 CVIT 2019

9月19日～21日、名古屋国際会議場にて第28回日本心血管インターベンション学術集会(CVIT2019)が開催されました。当社は機器展示を行い、また20日にはランチョンセミナー「New Trend and Benefits of Endovascular Treatment」を開催し、座長・春日部中央総合病院 安藤弘先生、コメンテーター・時計台記念病院 浦澤一史先生、演者に済生会横浜東部病院 毛利晋輔先生、八尾徳洲会総合病院 松尾浩志先生をお迎えしました。

浦澤一史先生より、新製品である「TORQ Porter®(トルクポーター)」の製品コンセプトを説明していただいた後、毛利晋輔先生と松尾浩志先生から臨床使用経験を交えたご講演をいただきました。会場は立見が出る程、多くの先生方にご参加いただき、大盛況にて終了致しました。その他、様々なセミナーでも多くの先生方から「Prominent®(プロマメント)」シリーズをご発表いただきました。当社製品がEVT治療に欠かせない製品であることを再認識することができました。

今後も多様化していく治療の中で、現在の製品に満足することなく、国産企業として先生方の要望にお応えし、臨床現場への情報提供を行うと共に、一人でも多くの患者様の安全・予後の改善に結びつくよう製品開発に努めてまいりたいと思います。最後になりましたが、座長の安藤弘先生、コメンテーターの浦澤一史先生、演者の毛利晋輔先生、松尾浩志先生、当社ランチョンセミナーに訪いただきました先生方にこの場を借りて御礼申し上げます。(古柁 記)



医療機器開発セッション 一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ

医療機器開発セッション  
医療機器開発セッション  
一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ  
池野 文昭(Stanford University, USA), Chaim Lotan(Tedassah Medical Center, Israel)  
2019年9月20日(金) 13:30～15:00 勇気会場(1号館5階)  
同席券あり

- [COM1-1] イスラエルの医療機器開発事情  
Chaim Lotan (Tedassah Medical Center, Israel)
- [COM1-2] アメリカのベンチャー現状について  
池野 文昭 (Stanford University, USA)
- [COM1-3] 心臓弁膜症に対する低侵襲カテーテル治療の開発  
三浦 浩輔 (東京大学)
- [COM1-4] Blue Practiceの読み  
トレーニング用センサ付き血管モデル  
大田 信 (Blue Practice株式会社/東北大学流体力学研究所)
- [COM1-5] 血管内気腫治療でのカテーテル等の学技支援を図るため、術前の「デバイス選定指標の提示」と術中の「デバイスのAIトラッキング」のプログラムから成る  
小林 隆司 (株式会社アルファック)
- [COM1-6] 世界最小径ハイレゾ血管内視鏡、世界初電子血管内視鏡カテーテルの開発と事業化  
高山 慶太 (大阪大学プロジェクト OVALIS)
- [COM1-7] 小児向け弁拡張バルーンカテーテルの開発  
堀 拓真 (株式会社東海メディカルプロダツツ)
- [COM1-8] 衝撃波エネルギー源とした世界初の革新的なアブレーションシステムの実用化を目指した、心筋壁厚1.0mm以上を達成するアブレーションシステムの開発  
藤沢 隆 (東北大学)

日本医工ものづくりコモンズは、産学連携・医学-工学の連携を目指して活動されている一般社団法人であり、今回はCVITにおいて産学連携での医療機器開発にフォーカスした発表7演題の1つとして「小児用弁拡張バルーンカテーテルの開発」を発表させていただきました。

会場は満席、立ち見も出るほど盛況で、その中でのプレゼンは大変緊張しました。当社の簡単な紹介と小児用弁拡張バルーンである「TMP PED®バルーンカテーテル」の開発の経緯、開発に

ついて発生した問題、それをどう乗り越えたかについて説明しました。また小児は症例数が少なく売上規模としては小さいですが、当社は引き続き新たな小児向けデバイス開発に取り組んでいきたいというメッセージも伝えさせていただきました。

発表後には、数名の医師やPMDAの方からも声をかけていただき、医師からは開発した製品を診療や研究に使用したい旨、PMDAの方からは市場の大きい米国への輸出についての支援制度の紹介などをいただきました。演者として学会に参加する経験はなかなかできず、貴重な経験となりました。発表だけでなく、他の発表者との交流、発表後に声をかけていただいた方との交流が良い刺激となりました。この経験を活かして引き続きより良い製品を開発できるように取り組んでいきたいと思っております。(堀 記)

## CIRSE (Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe)

9月7日～11日、34回目を数えるCIRSE (Cardiovascular and Interventional Radiological Society of Europe)に参加いたしました。今年はスペイン・バルセロナで行われ、Interventional Oncology、Embolizationなど合計8つの分野で160のセッションが行われました。当社スペイン代理店・Izasaのお膝元であり、準備等に厚い協力を受けることができました。また、欧州とはいうものの、中東やアフリカ、南米からも多くの参加があり、また今年は目立って日本人の参加者が多かった印象もあり、益々国際的な学会ともなっています。



ブースでは、腹部用のマイクロカテーテルCarnelian™シリーズをメインに出展し、特に欧州では、2.2Fr～1.8Frの細径カテーテルの説明や、他社品との比較での長所を聞かれることが多くありました。各国の代理店がブースに立ち寄り、個別案件の相談を受けたり、自分の担当のドクターを連れて来て、当社製品を直接PRするなど、非常に有用なコミュニケーションの場とすることができました。またこれから当社の代理店になりたい企業などのオファーのための訪問が続いております。



この学会の機会を通じて、日本の医師との交流や、欧州をはじめとした各国代理店を集めた代理店ミーティングを実施し、15カ国から約30名の参加者に対して、ガイドワイヤーやレスキューバルーンの現状や当社業績の報告、意見・質問交換、ドイツとスペインの医師からは症例プレゼンを行っていただいた後、寿司ディナーでお腹を満たしていただき、参加各位には有意義な時間になったものと願っております。

CEマークを取得しているとはいえ、まだまだ“TOKAI”や“Carnelian”の認知度が低く、例えば、医師がナースに、“2.7Frのマイクロもってきて！”という指示であれば、他社品に手が伸びるのが現状のようです。今後海外売上のうち、欧州の比率を3割に上げる必要性の中で、製品の良さのアピールと同時に、当社の認知度も上げていきたいと思っております。(西川 記)

## 内定式

10月1日に2020年度新規学卒者の内定式を執り行いました。2020年4月には大学・大学院生5名、高校生3名の計8名を新入社員として迎えることとなります。

内定式では、会長・社長から激励の言葉が贈られ、内定者からは会社や仕事への想い・決意が語られました。内定式後には内定者研修も実施し、社会人としての心構えと、仕事のイメージが膨らんだようです。春から共に働く仲間として活躍を期待しています。(鈴木 記)



## ～今後の学会出展予定(10-12月)～

- 10月24日～26日 Complex Cardiovascular Therapeutics 2019 Peripheral 【神戸国際展示場】  
出展物(予定): TORQ Porter<sup>®</sup>、Prominent<sup>®</sup>シリーズ、PCIバルーンカテーテルVolant<sup>®</sup>、オプティモ<sup>®</sup>PPI
- 11月21日～23日 第35回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会(JSNET2019)  
【福岡国際会議場/福岡サンパレス】  
出展物(予定): オプティモEPD<sup>®</sup>、Carnelian<sup>®</sup> MARVEL<sup>®</sup> 2マーカー、Carnelian<sup>®</sup> HF-S

コラム

令和元年九月  
内閣総理大臣 安倍 晋三

来る十月二十二日 宮殿において行われる即位礼正殿の儀に参列されますよう御案内申し上げます

令和元年九月  
内閣総理大臣 安倍 晋三

来る十月三十一日 宮殿において行われる饗宴の儀に参列されますよう御案内申し上げます

8月末に特許庁長官から突然電話があり、経済産業省として推薦して下さったとのことで10月22日 即位礼正殿の儀、10月31日 饗宴の儀に御招待いただくことになりました。お電話いただいた特許庁長官は、前年10月より稼働している当社研究拠点イノベーションセンター「ミライ」、その開設セレモニーを今年4月15日に執り行った際に来賓としてご出席いただき、「ミライ」設立のきっかけとなった経済産業省「地域未来牽引企業」認定事業の担当審議官だった方で、「地域未来牽引企業にふさわしい、こういう会社が経済産業省としてずっと出てくるのを望んでいたし、育てたいと思っていた」とのお言葉を頂戴いたしました。

中部経済産業局が名古屋通商産業局と呼ばれていた昭和60年頃、まだ当社は設立当初で苦しい時期だったのですが、通産局から技術改善補助金を2回に渡って合計約2,000万円をいただき、売上がなく申請費用等がかかる初期段階での研究開発においてどれほど役立ったか、はかりしれません。その後もなにかと御支援いただきましたし、中小企業近代化審議会専門委員や新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)技術委員などもさせていただきました。



平成12年 科学技術庁長官賞

思えば平成12年に科学技術庁長官賞、平成14年に黄綬褒章、平成23年に旭日双光章と栄えある賞を賜り、平成28年には園遊会にも御招待いただきました。今回は平成から令和となって ご即位を間近で御祝いできる名誉を賜り、感無量でございます。写真は撮影できませんが次号で出席した様子を御報告させていただければと存じます。 筒井宣政



平成14年 黄綬褒章



平成23年 旭日双光章



平成28年 園遊会